

## 「第15回アジア女性会議 北九州」事業報告

### 【第15回アジア女性会議 北九州】

#### (1) 概要

「第15回アジア女性会議 北九州」は、北九州とアジアをつなぐ国際会議として、「人間の安全保障とジェンダー」をメインテーマに、海外からアフガニスタン、中国、フィリピン、韓国、ベトナムのパネリスト7名、国内から10名のパネリストを迎えて、平成16年11月6日(土)から7日(日)までの2日間に亘り、北九州市で開催された。

「北京行動綱領」の採択より10年、「平等・開発・平和」を掲げて前進してきた男女平等の歩みのなかで、節目に当たる今回の会議では、「北京+10に向けて 人間の安全保障とジェンダー」をテーマとし、すべての人びとの安全を保障するために、人間一人ひとりの尊重とエンパワーメントを重視した包括的な取り組みや課題について議論した。

本会議の1日目は、ビデオ・メッセージ、基調講演、3分科会、全体会で構成され、会議の成果を提言にとりまとめた。2日目は、当財団の主席研究員2名、客員研究員3名及び海外から3名の共同研究員を招いて研究活動報告を行い、日ごろの研究成果を市民に報告した。

会議参加者は1,280名、総事業参加者は約10,200名であった。

#### (2) 基調講演

日 時 平成16年11月6日(土)10:00~12:30

会 場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2Fホール

参加者 650人

テーマ 「北京+10に向けて 人間の安全保障とジェンダー

~すべての人びとの人権と安全を保障する社会をめざして~」

ビデオ・メッセージ

「人間の安全保障」

緒方 貞子(独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長)

海外講演者

「北京プラス10に向けて」

パトリシア・リクアナン(アジア太平洋NGOフォーラム議長)

国内講演者

「ジェンダーと人間の安全保障」

猪口 邦子(上智大学法学部国際関係法学科教授)

#### (3) 分科会

日 時 平成16年11月6日(土)13:30~17:00 3分科会を同時開催

### 第1分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2F ホール

参加者 120人

テーマ「平和構築を通じて人びとの安全をどう保障するか～紛争予防・解決～」

コーディネーター 佐藤 安信（名古屋大学大学院国際開発研究科教授）

パネリスト アイリーン・サンチャゴ（ミンダナオ女性委員会議長・事務局長）  
喜多 悦子（日本赤十字九州国際看護大学教授）  
古沢 希代子（恵泉女学園大学助教授）

### 第2分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F 小セミナールーム

参加者 60人

テーマ 「開発をとおして人びとの安全をどう保障するか～貧困・教育～」

コーディネーター 織田 由紀子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

パネリスト モミナ・ヤリ（アフガニスタン独立人権委員会プログラムマネージャー）  
北沢 洋子（国際問題評論家）  
熊岡 路矢  
（特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター（JVC）代表理事）

### 第3分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F 大セミナールーム

参加者 90人

テーマ 「とりわけ弱い立場にある人びとの安全をどう保障するか  
～移住者、人身取引、難民・避難民、障害者～」

コーディネーター 篠崎 正美（熊本学園大学教授、  
（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

パネリスト ヌーリア・ハクネガル（アフガニスタン女性課題省研修・唱道局長）  
伊藤 るり（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授）  
佐藤 摩利子（国連ハビタット福岡事務所人間居住専門官）

### （4）全体会

日時 平成16年11月6日（土）16：15～17：00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F 大セミナールーム

参加者 140人

司会 三隅 佳子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム理事長）

提言とりまとめ 原 ひろ子（放送大学教授、（財）アジア女性交流・研究フォーラム会長）

- 報告者 第1分科会：佐藤 安信（名古屋大学大学院国際開発研究科教授）  
第2分科会：織田 由紀子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）  
第3分科会：篠崎 正美（熊本学園大学教授、  
（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

#### （5）研究活動報告

日時 平成16年11月7日（日）10：00～17：00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F大セミナールーム

参加者 220人

報告内容

「ジェンダーの視点から見た環境・開発への取り組み」

織田 由紀子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

「アジアにおける農業女性のエンパワーメント」

篠崎 正美（熊本学園大学教授、

（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

庄 平（中国山東大学継続教育学院院長・教授）

「ジェンダーの視点から見た韓国の非正規労働者化」

横田 伸子（山口大学経済学部教授）

黄 秀慶（韓国労働研究所研究員）

「法・貧困・ジェンダー～ベトナムにおける法多元主義と正義へのアクセス～」

佐藤 安信（名古屋大学大学院国際開発研究科教授）

ファム・ティ・フエ（ベトナム家族女性研究センター研究員）

「ミャンマーの保健医療とHIV/AIDS」

劔 陽子（産業医科大学医学部公衆衛生学教室助手）

#### （6）併催事業

詩集画展 こやま峰子作

「地雷のあしあと～ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの絵画展」

日時 平成16年11月1日（月）～平成16年11月7日（日）9：30～21：30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階 交流広場

内容 戦争や紛争が終わっても、なお地雷の危険にさらされている人びとの生活を描いたボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの絵画展。子どもたちの豊かで直截的な感性は、世界各地で絶え間なく起こる紛争や貧困に苦しむ社会において、とかく犠牲となりがちな女性や子どもたちの感じる危険な現実を映し出し、人間の安全保障について考える機会を与えてくれる。

人びとの人権と安全が守られた社会の実現がいかに重要であるか訴え、会議開催趣旨の理解を深めるとともに、会議開催の告知と周知を図るため、こやま峰子氏作の詩集画の原画を展示する詩集画展を開催した。

参加者 7,300人

沢田教一写真展 「安全への逃避」

日時 平成16年11月1日(月)～平成16年11月7日(日)9:30～21:30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2階ホール ロビー

内容 ベトナム戦争の悲惨な戦場に身を投じ、死と隣り合わせで撮影を敢行したピューリッツァー賞カメラマン故沢田教一氏の写真展。色あせることのないリアルな写真を通して、女性、老人、子どもなどの弱者に危険な戦争や紛争の実態と本質を知り、平和構築の大切さとその責務を呼び起こしてほしいとの願いを込め開催した。

参加者 2,900人